

【参考】2024年度「関空・泉州・南大阪地域学」の様子

※2025年度と合宿場所・スケジュールが異なります

【科目運営委員・講師】

日向 浩幸氏(羽衣国際大学)、細川 比呂志氏(大阪観光大学)、近藤 祐二氏(大阪商業大学)

【協力先企業等】

関西エアポート株式会社、一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビューロー、株式会社南海リサーチ&アクト

【受講生(計 38 名)】

*大学内訳

大阪公立大学(1名)、大阪経済法科大学(4名)、大阪商業大学(9名)、大阪女学院大学(7名)、関西大学(2名)、近畿大学(5名)、四天王寺大学(1名)、帝塚山学院大学(1名)、羽衣国際大学(1名)

<広域単位互換生>広島工業大学(1名)、静岡大学(5名)、静岡産業大学(1名)

*学年内訳

1年生4名、2年生10名、3年生19名、4年生5名

【1日目】

開講あいさつ 協力企業からのミッション発表



「関空・泉州・南大阪地域学」では、普段はそれぞれ異なる大学で学ぶ学生たちがグループをつくり、泉州地域にいかにか観光客を呼び込むかというミッションに応えます。関空でミッションを受けた後、グループごとにフィールドワークの調査を行い、最終日の関空・泉州に関連する企業や団体などに対するプレゼンテーションに向けて、合宿をしながら提案をまとめ上げます。



午後はフィールドワークの後、休暇村紀州加太に移動。

夕食後もグループごとにテーマの絞り込みを行いました。

【2日目】

各グループで一つの企画書を作成した後、2グループ相互で企画を発表しました。

午後から加わった協力企業等を前に中間発表。企業の方に積極的に質問をしながら、企画書をブラッシュアップします。2日目の晩は、夜遅くまでロビーに残って企画を練るグループの姿もありました。



【3日目】

この3日間、泉州地域の観光について、フィールドワークを基にデータを調べ、グループ内で話し合いを重ねながら資料作成を行って来ましたが、ついに最終プレゼンテーションの日を迎えました。



最終プレゼンテーション

初日に提示されたミッションに対する提案内容としては、岸和田のだんじりを「世界に一番近い城下町」としてアジア人観光客をターゲットにブランド化を提案するグループ、関空を利用し泉州に宿泊する観光客にターゲットを絞って宿泊地周辺の「ついで観光」から始め、泉州全域の観光地化を目指すグループなど、多様な視点から泉州観光を盛り上げるための提言がありました。



昨晩(最終プレゼン前夜)遅くまで、最終プレゼンの打合せをしている学生の姿に感銘を受けていたある企業の方は、受賞グループを一つに絞るのは大変だと仰っていました。審査結果を集計したところ、1位～3位まで得票差が数ポイントしかないハイレベルな接戦となりました。

最終プレゼンテーションの審査結果は以下の通りです。また、敢闘賞が「ごっつえ a グループ」と「チームエクセレント」に贈られました。

【関空エアポート賞】

チーム名:AMITY6 号

【南海&リサーチ&アクト賞】

チーム名:チーム F



【KIX 泉州ツーリズムビューロー賞】

チーム名:クローバーグループ

【最優秀賞】

チーム名:B 小町



各賞授与の後、協力先企業等および講師からの講評があり、羽衣国際大学 中川 恵学長より閉会の言葉をもって終了しました。

記念撮影



オフショット

